

認知症に対するアロマセラピーの効果とアロマセラピー研究の戦略

The effects of aromatherapy on patients with dementia and a strategy for research of aromatherapy

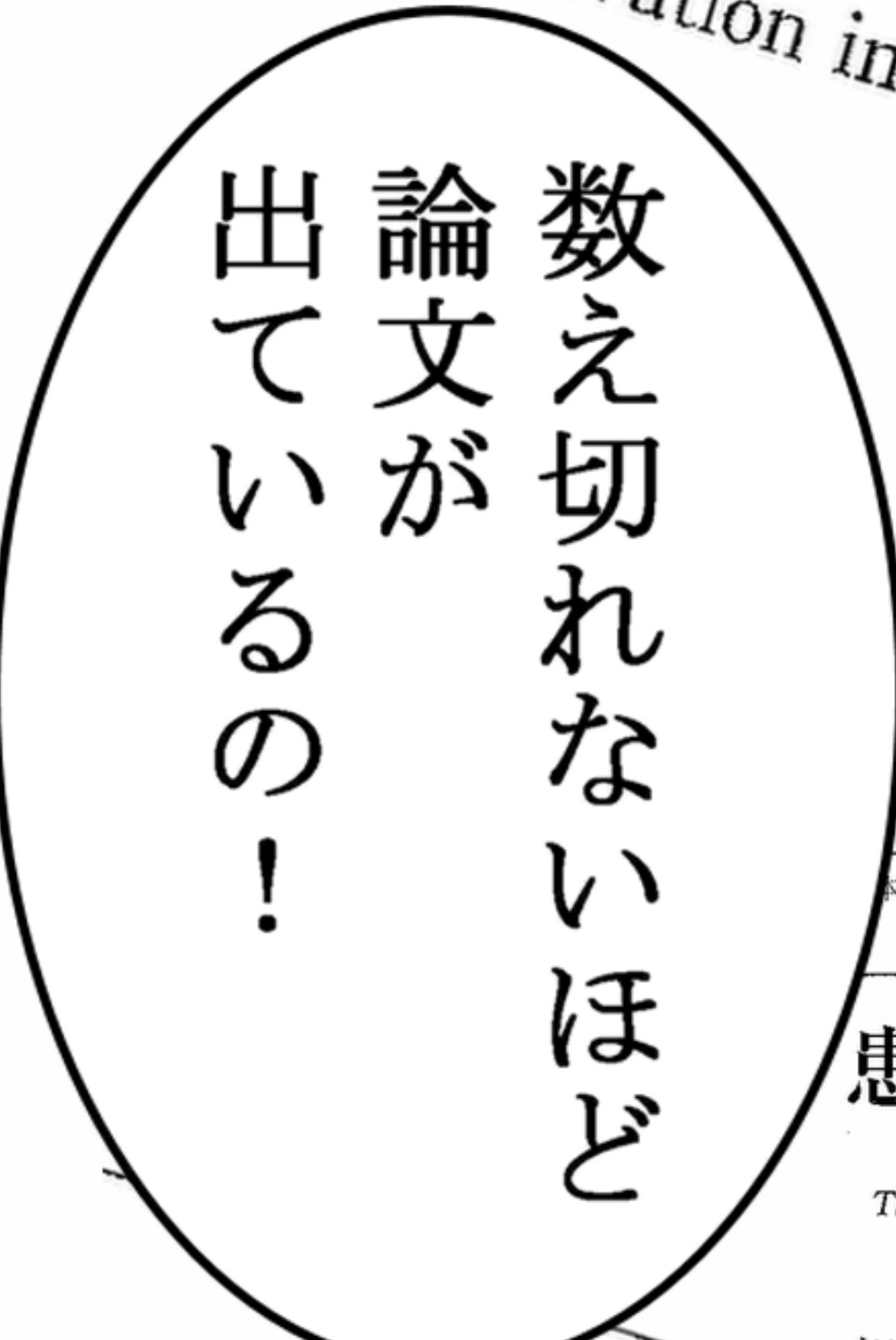
神保 太樹^{※1,2}・JINBO DAIKI 浦上 克哉^{※1}・URAKAMI KATSUYA

1) 鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座環境保健学分野
2) 鳥取大学医学部生命科学科生体情報機能学講座神経生物学分野

〒683-8503
鳥取県米子市西町38
鳥取大学医学部保健学科生体制御学
神保太樹
TEL: (0859) 38-6354 / FAX: (0859) 38-6359
E-mail: gelehrte@grape.med.tottori-u.ac.jp
受付日: 2006年1月16日
受理日: 2006年1月28日

Summary
Dementia is lesions by the continuous fall of the intellectual function which progressed normally. Although Alzheimer's disease and multifactor dementia are mainly mentioned. And they are increasing now in the world. In this country which is a super-aged society, dementia patients are increasing remarkably. The number of dementia patients is increasing remarkably. The number of dementia patients is increasing remarkably. The number of dementia patients is increasing remarkably.

<要旨>
認知症は、正常に発達した知的機能の持続的な低下による障害であり、その主なものにはADと脳血管性認知症が挙げられ、増加傾向にある。超高齢化社会においては、近年の...



精油のにおいと脳活動変化 Brain activation in response to olfactory stimuli by essential oil

近藤高史、山田朱織、塩田清一
1. 味の素株式会社・ニ
2. 昭和大学

症例報告

一症例における高度アルツハイマー病患者に対するアロマセラピーの有効性

The Efficacy of Aromatherapy for a Case of a Patient with Severe Alzheimer's Disease

春田 博之^{※1}・HARUTA HIROYUKI
神保 太樹^{※2}・JINBO DAIKI

1) 医療法人春田クリニック
2) 昭和大学医学部第一解病学講座

〒546-0044
大阪府東淀川区北田辺6丁目6-3イトーピア
北田辺103号
春田博之
TEL: (06) 6621-7535 / FAX: (06) 6621-7535
E-mail: hiroyuki.haruta@gmail.com
受付日: 2010年12月20日
受理日: 2011年7月19日

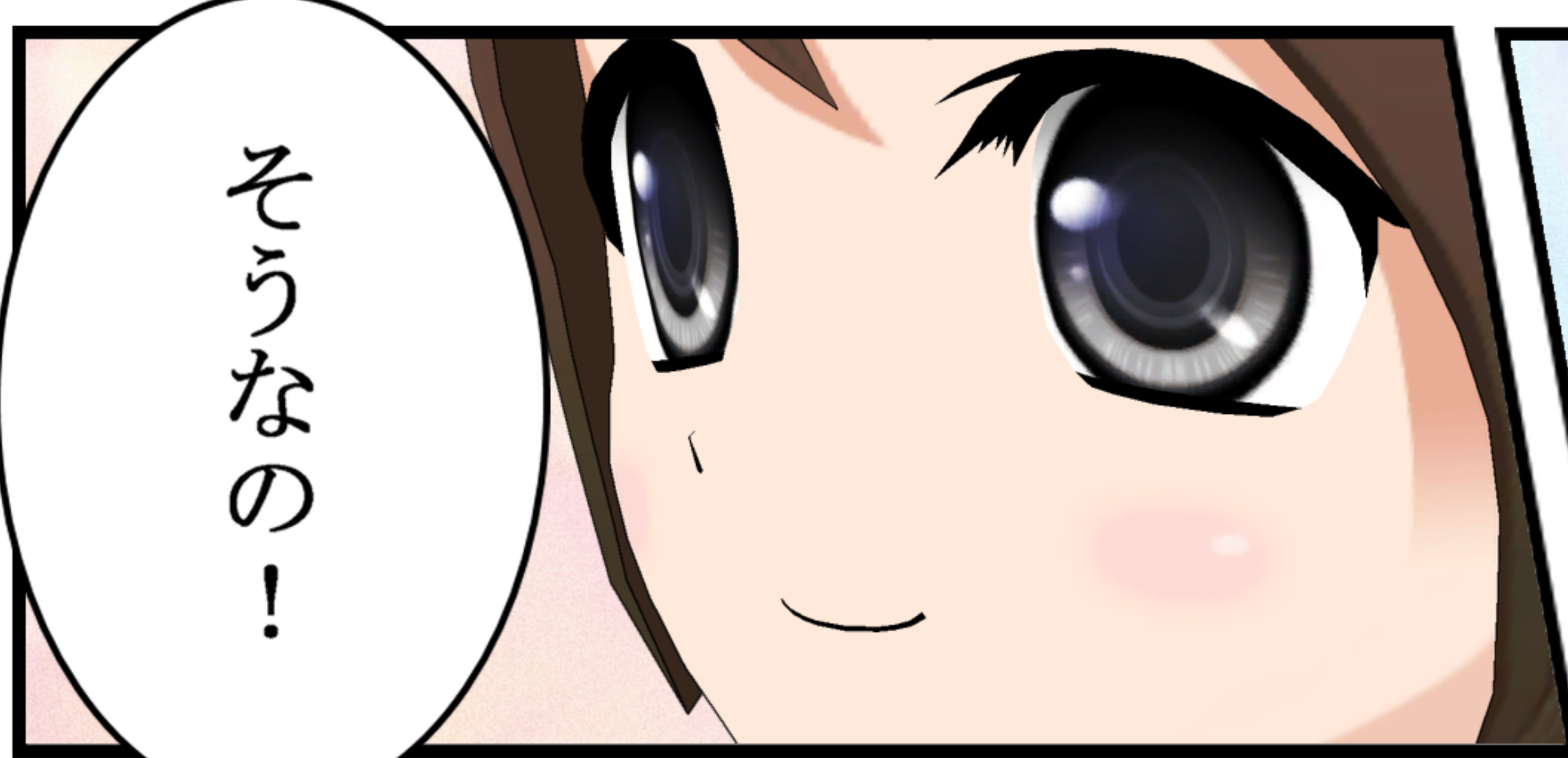
Summary
We usually use donepezil (Aricept®) and galantamine (Reminyl®) as the acetyl cholinesterase inhibitors for well-established treatment of cognitive disorders on patients with Alzheimer's disease (AD). But the treatment by these pharmacological therapies is always fruitless in a brief period of a year. Now we need the new strategy. Past researches said that aromatherapy could improve cognitive disorders and other psychological symptoms of AD (BPSD). Then, we showed that aromatherapy with lemon (Citrus limon), sweet orange (Citrus aurantium) and lavender (Lavandula angustifolia) could improve the cognitive dysfunctions.

<要旨>
本邦におけるアルツハイマー病(AD)の治療は、現在ではアセチルコリン分解酵素阻害剤であるドネペジル塩酸塩(アリセプト®)やガラントミン臭化水素酸塩(レミニール®)等を用いた薬物療法が中心となっている。しかし、これらの治療薬は1年前後でその効果が減弱されることが多く、薬物治療を補完する治療戦略が求められている。過去の報告では非薬物療法の有効性に着目し、特にレモン(Citrus limon)、ローズマリー(Rosmarinus officinalis)、オレンジスイート(Citrus sinensis)、真正ラベンダー(Lavandula angustifolia)を用いたアロマセラピーがADの認知機能障害や周辺症状に対して有効であると示唆されているが、著者の報告でもアロマセラピーは認知機能障害を有意に改善していた。今回、我々は、アロマセラピーによる治療が、かかりつけ医によって用いられても同様に効果が得られるかどうかを考察するために症例を示した。本症例では、わずか1ヶ月程度の簡略化したアロマセラピーによって、AD患者の諸症状の改善が観察された。

アルツハイマー病患者に対するアロマセラピーの有用性

木村 有希¹⁾、網分 信二¹⁾、谷口美也子¹⁾、斎藤 潤¹⁾、北浦 美貴¹⁾、細田理恵子²⁾、米原 あき²⁾、長谷川順子²⁾、児山 恵恵²⁾、清水百合子²⁾、森本 靖子²⁾、頼田 孝男²⁾、小嶋 良平²⁾、浦上 克哉¹⁾

抄録
アルツハイマー病(AD) 10例を含む高齢者28例を対象として、コントロール期間の後アロマセラピーを実施し、それぞれ前後で検査を行いその有用性を検証した。全員にGBSスケールの自己に関する見当識の有意な改善が見られた。効果はAD患者、また軽度~中等度AD患者においてより著明であり、知的機能の観点でも有意に改善した。生化学、血液一般、介護職員に対する Zarit では有意差はなかった。AD患者への非薬物療法としてアロマセラピーの有効性を示した。さらに Zarit より、この改善効果は介護負担軽減によって患者評価が改善されたことと考へた。血液一般、生化学、認知機能検査、介護職員評価、AD患者、軽度、中等度、重度、病、痴呆、高齢者、認知症、アロマセラピー、効果、有用性、検証、見当識、改善、有意、著明、著者、著者ら、2001, Yamada et al.



- 記憶を司る「海馬」は嗅神経と直結している
- 嗅神経と海馬には再生能力がある

嗅神経と海馬の再生能力に香りアプローチするんですね!

どうやら五感の中でも特に「嗅覚」は記憶と深い関係があるようね